

環境WG活動報告
化学物質法規制と情報伝達の動向
～化学及び関連業界の現状と今後～

2015年5月26日

CEDI小委員会 環境WG

目 次

- 1 はじめに
- 2 化学物質情報管理の必要性と現状
- 3 他業界の現状
- 4 化学物質情報伝達の問題点と今後
- 5 今後の化学物質情報伝達の提案
- 6 まとめ

1 はじめに

2014年度の環境WGの検討テーマは、

化学物質情報伝達と業務の実態調査として

- ・他業界の実態調査
- ・化学物質情報伝達及び標準化の推進状況の調査

上記2点をピックアップした。

具体的には、各種団体及び他業界と最新動向の収集、意見交換を行い、3ヶ年の活動を総括した。

2 化学物質情報管理の必要性と現状

プラスチック等工業材料の原料から洗剤や調味料のような日用品まで広く利用され、便利で豊かな生活を営む上でいまや必要不可欠なもの

- ・大量消費される化学物質（包装、日用品、建材、・・・）
- ・機能を持つ新たな化学物質
（IT機器部品、自動車部品、日用品、薬品・・・）

現在流通している化学物質

- ・ 世界で約10万種
- ・ 日本も約5万種

化学物質は、人類にとって

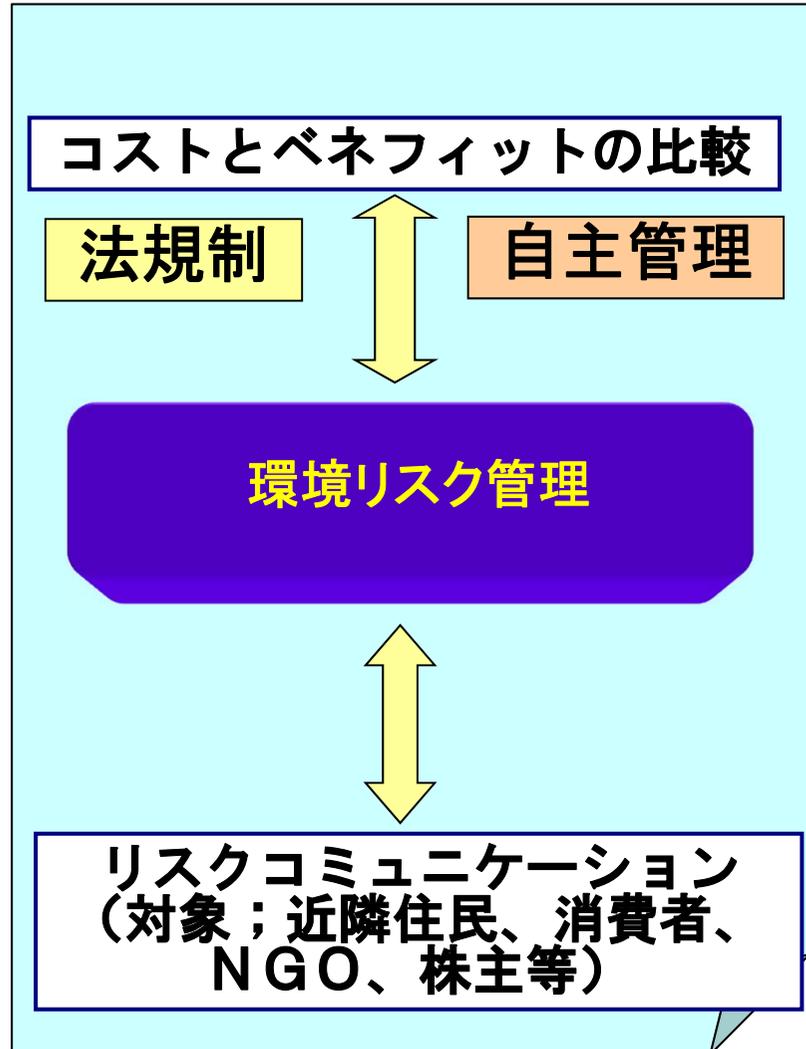
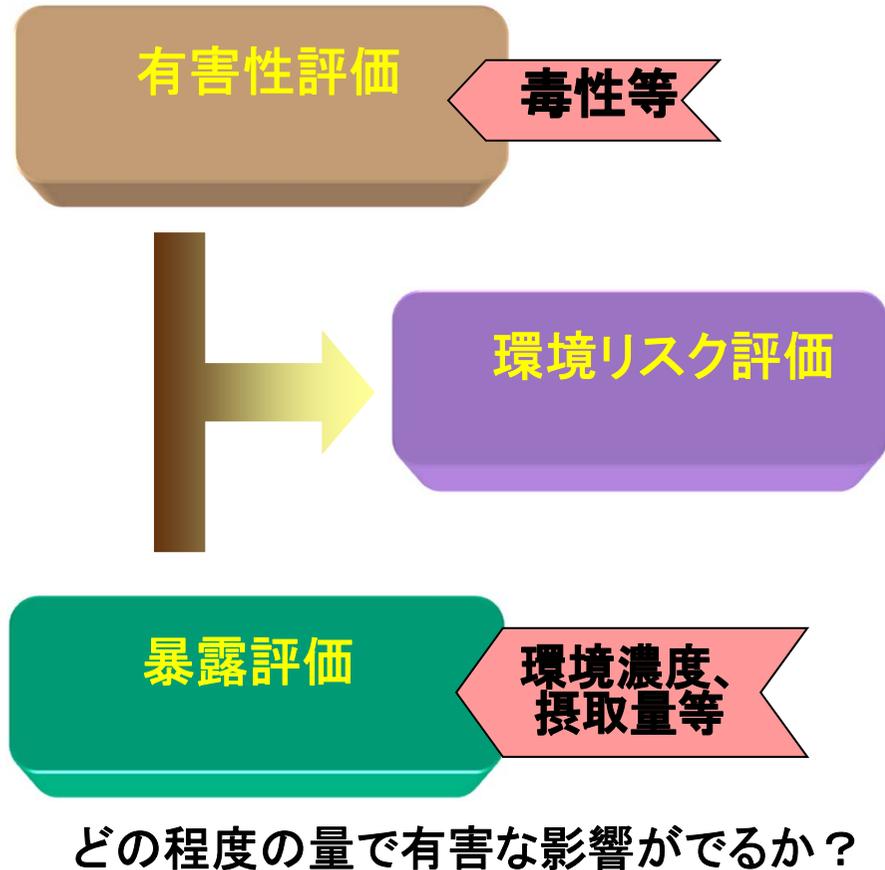
利便性を有するものであるが、有害性も併せ持つ

化学物質の有害性と暴露のリスクを評価し、

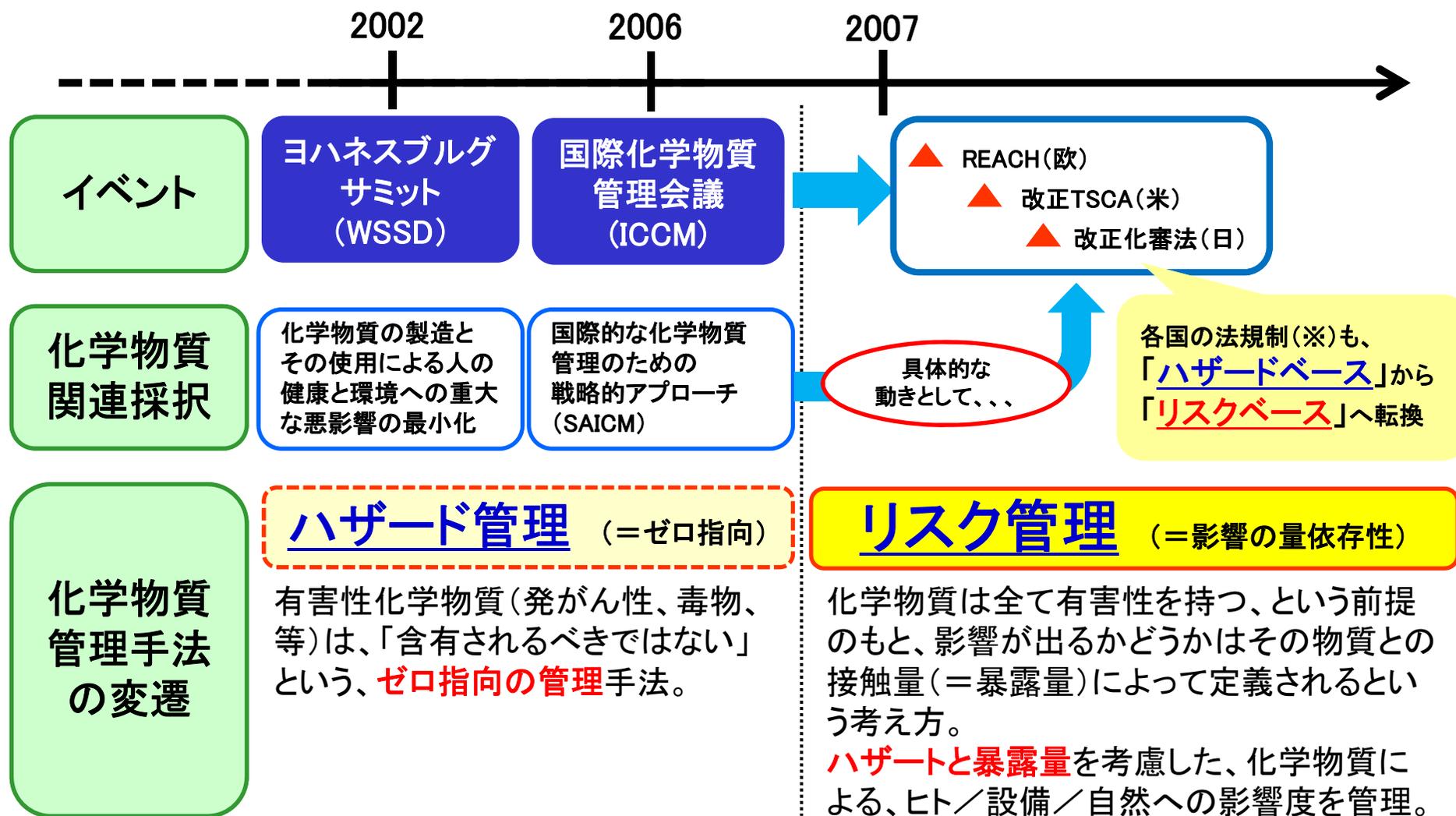
リスク評価に応じた適切な化学物質総合管理が必要

注) 暴露or曝露 : 化学、物理または生物物質と生体の外部境界との接触

どんな種類の有害性か？ ヒト、生態系



ハザード管理からリスク管理



国内法規制

- ・化審法 **第一種特定化学物質**
優先評価化学物質
- ・PRTR法
- ・安衛法 **製造物禁止物質**
表示、通知対象物質
- ・毒劇法 **特定毒物**

業界基準

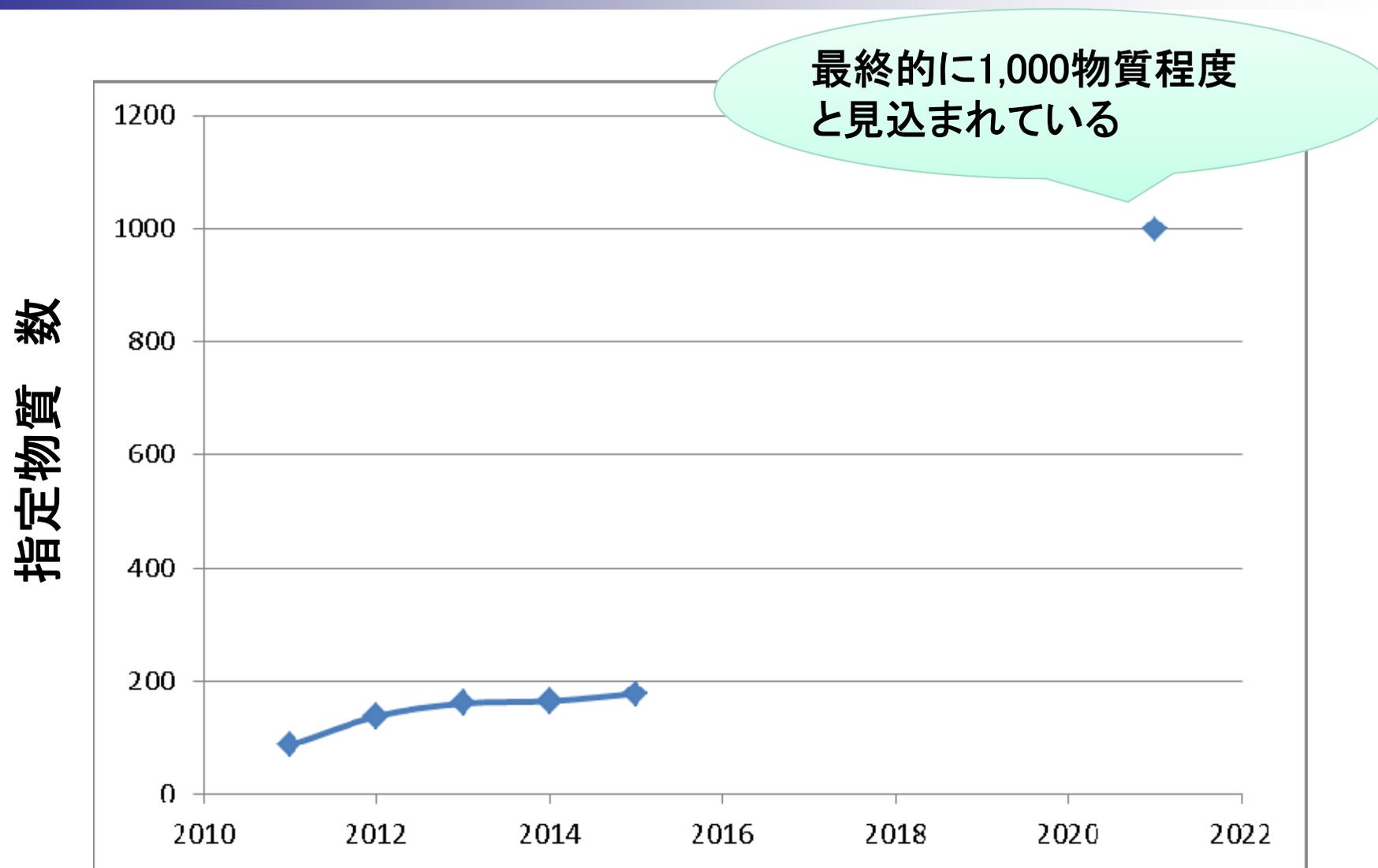
- ・ESIS PBT[Fulfilled]
- ・GADSL
- ・JIG =>IEC62474
- ・印刷、インキ工業会NL規則
- ・OEKO—TEX
- ・環境ホルモン(SPEED98)
- ・BSE、TSE

海外法規制

- ・RoHS指令
 - ・ELV指令
 - ・CLP
 - ・REACH Annex XVII
 - ・REACH 認可対象候補物質(SVHC)
 - ・POPs Annex I
 - ・TSCA
 - ・Prop65
 - ・EU食品包装材関連規則
 - ・韓国、中国の禁止物質、制限物質、毒物
 - ・紛争鉱物 (Conflict Mineral)
- EUグリーン調達

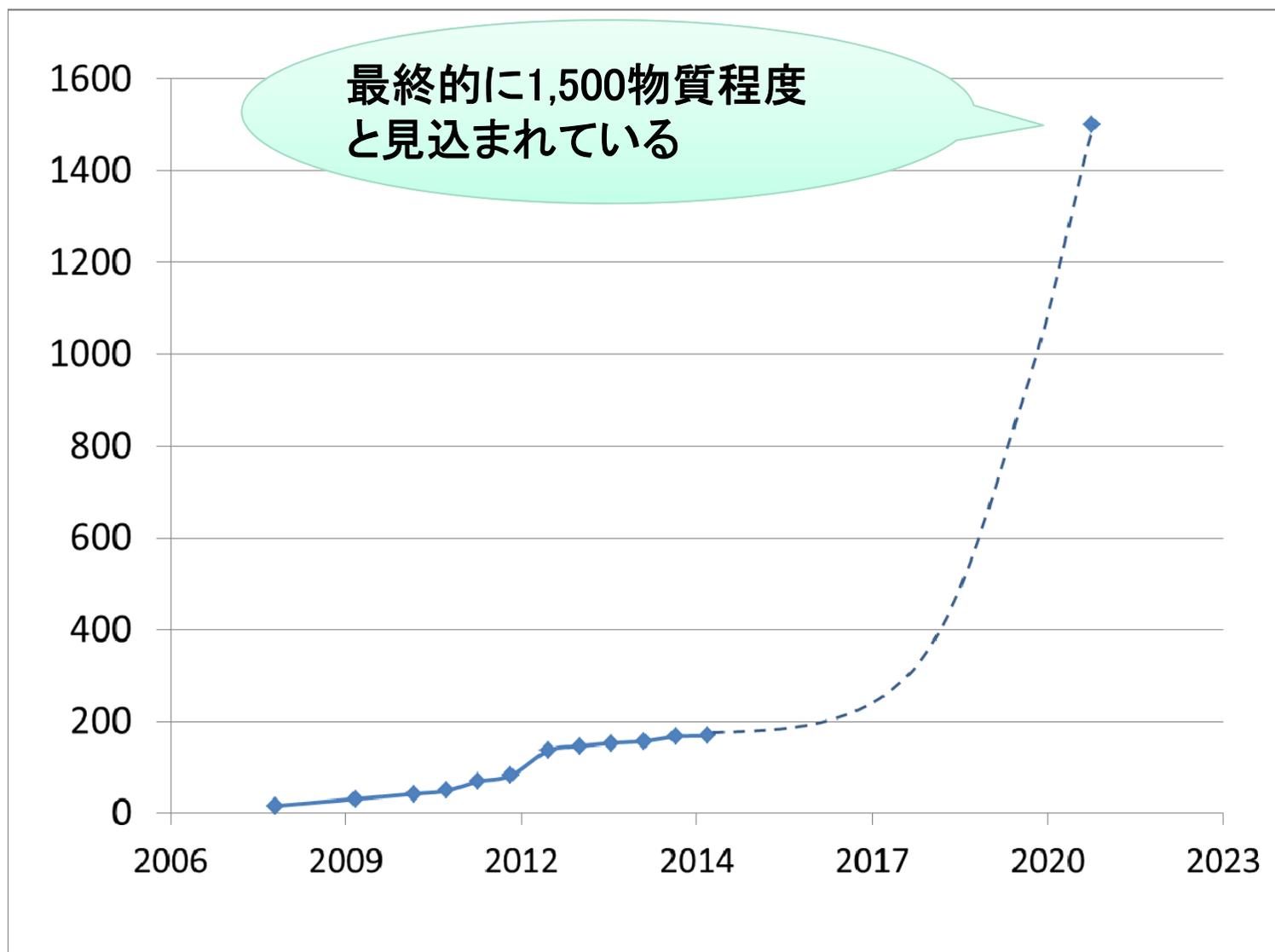
(赤字:国内製造禁止)

化審法 優先評価物質の増加



REACH 高懸念物質(SVHC)の増加

SVHC指定物質数



3 他業界の現状

お聞かせいただいた内容

- 業界団体として、環境問題への取り組みと活動状況
- 環境情報授受についての標準化への取り組みと実績
- JAMPの利用状況
- MSDSplus等の標準フォーマットの利用状況
↑ 使用出来ない場面 理由
- 業界独自フォーマットの有無
- 化学(素材)メーカーに要望すること
- 顧客業界から環境情報として要求されている事
- 要求への対応で苦慮している事 等

業界団体との意見交換(各団体の概況) 環境問題への取り組みと活動状況



<p>日本 塗料工業会</p>	<p>HPに環境安全の取り組みを掲示 日化協の環境、製品安全などの部会や、各種WGに参加し会員会社に伝達している。 不純物を含めて成分情報を開示していただきたいという要望あり (特に顔料に含まれる重金属が重要)</p>
<p>日本接着剤 工業会</p>	<p>シックハウス症候群等の対策でVOC削減が課題。 家庭用接着剤のGHS表示に関するガイドラインを作成し自主的に取り組んでいる。 (製品の小さい物にはラベル表示困難・かつユーザーは見ない) SDSの作成方法を中小企業に説明している (VOC:揮発性有機化合物)</p>
<p>日本石鹼洗 剤工業会</p>	<p>環境(河川)モニタリング(東京3、大阪2) 危険有害性についてはかなり真剣に取り組んでいる HPのコンテンツが豊富</p>
<p>日本界面活 性剤工業会</p>	<p>SDSの作成方法を中小企業を中心に教育実施</p>

総括: 化学物質情報連携(手段、フォーマット)でのご要望は無かった。

環境情報授受についての標準化への取り組みと実績

	主伝達フォーマット		SDS作成		業界 Format	MSDS plus	JAMP GP
	受領	提出	ガイド	教育			
塗料	SDS	B2C:ラベル B2B:SDS 及びラベル	◎	—	無	◎	△
接着剤	SDS	B2C:ラベル B2B:MSDSplus	◎	◎	無	◎	◎
石鹼洗剤	SDS	B2C:ラベル	—	—	無	—	△
界面活性	SDS	B2B:SDS	◎	◎	無	○	○

△:あまり積極的ではない ○:活用 ◎:積極活用、有、実施

要約:JAMPに収斂している

お聞かせいただいた内容

- 困っていること
- 手間の掛かっていること
- SDSの作成と配信の実態
- 化学企業に期待する事
- JAMP OR2ISの利用状況とご意見
- スクラムプロジェクトへのご意見
- 海外の化学物質伝達の状況
- 商社の化学物質管理業務の実態 等

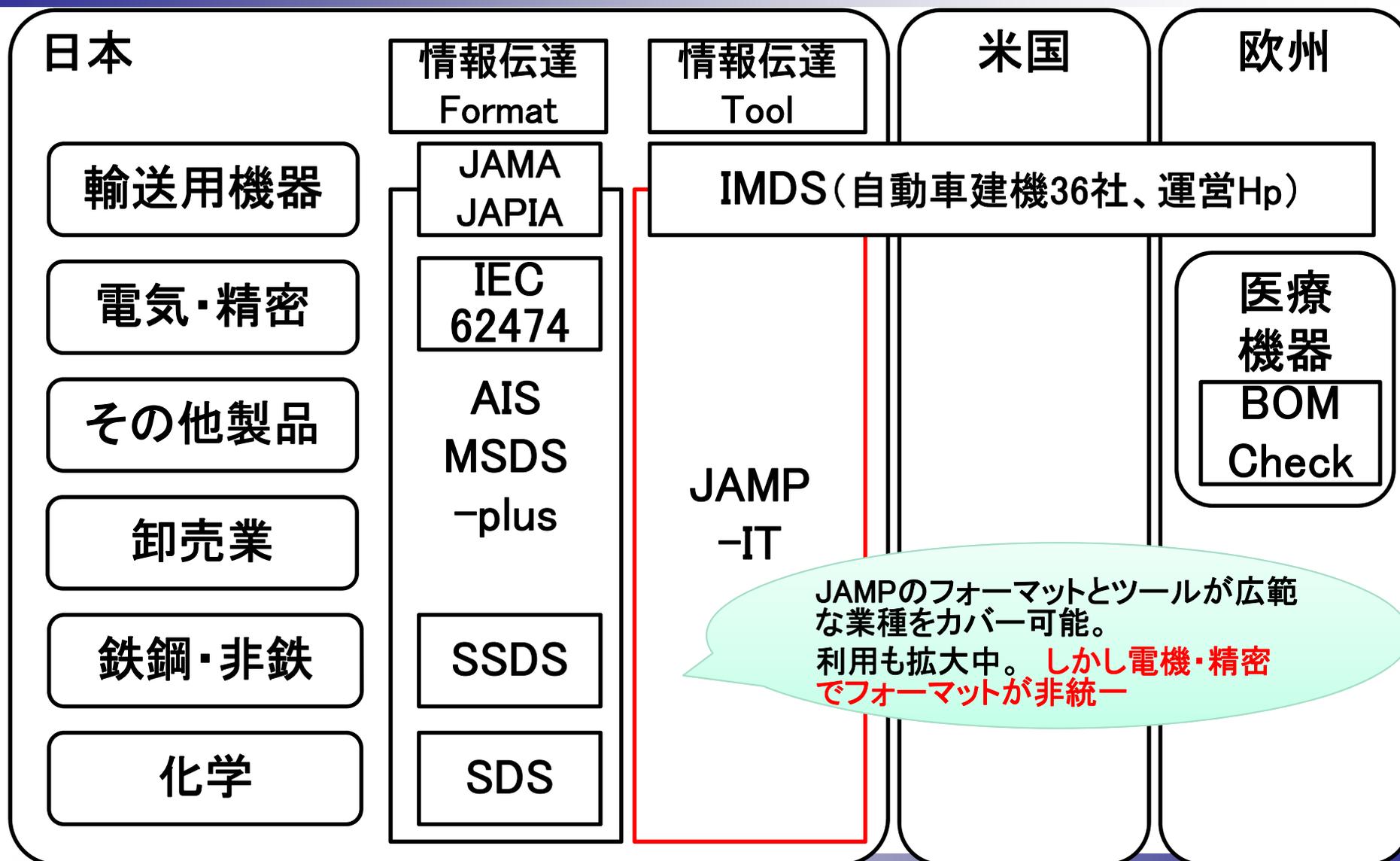
商社との意見交換(概況)



	A社	B社
化学物質管理	手作業	システム化完了
困っていること 手間の掛かっ ている事	情報入手が困難 依頼フォーマットは独自が多い 化審法対応(輸入品の数量報告) のみで一ヶ月はかかっている	件数増加。AIS指定も増加 輸入品の情報入手が困難
SDS作成と配 信の実態	国別に作り直しが必要 メーカーに依頼しラベルSDSを発 行する場合も有り。(製造会社名 のラベル・SDSになる)	メーカーからMSDSplusを入手して自社 システム登録後、自社フォーマットで 出力
化学企業への 期待	情報開示	正確な情報を提示してほしい 海外メーカーで顕著、日本メーカーも同様
その他	独自フォーマットが多い 輸出入業者に全ての責任を持た せるのは困難(中身を知らないの に責任を持つのは大変)	JAMPに統一してほしい 成分情報を隠して情報伝達し最終的 に行政には正しい情報が送られるよ うには出来ないか

4 化学物質情報伝達の問題点と今後

情報伝達のツールとフォーマットの状況(現在)



東証上場企業の業種別参加状況（一部2部マザーズ）



石化協調査 社名でマッチング（2014年4月現在）

JAMP会員 約440 JAMP-IT利用会員 約240

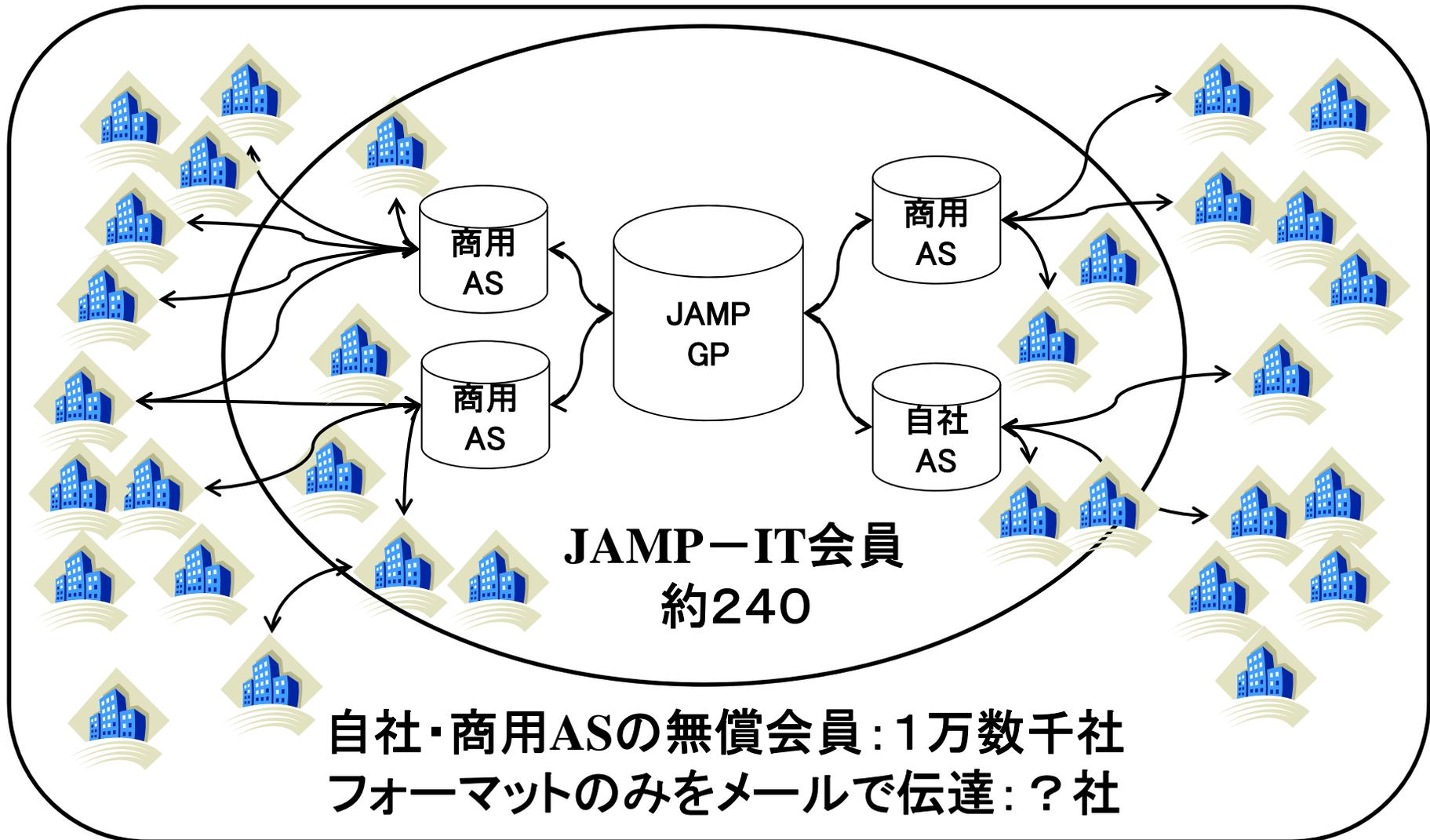
（差はSME会員 & 非上場企業と考えられる）

業種	会社数	JAMP会員		JAMP-IT利用	
		数	%	数	%
電気・精密	241	73	30%	24	10%
化学	172	35	20%	7	4%
機械	175	15	9%	3	2%
鉄鋼・非鉄	74	6	8%	0	0%
その他製品	73	5	7%	1	1%
自動車・輸送機	96	6	6%	0	0%
卸売業	215	9	4%	3	1%
建設・資材	207	7	3%	0	0%
計	1253	156	12%	38	3%
石化協	30	14	47%	6	20%

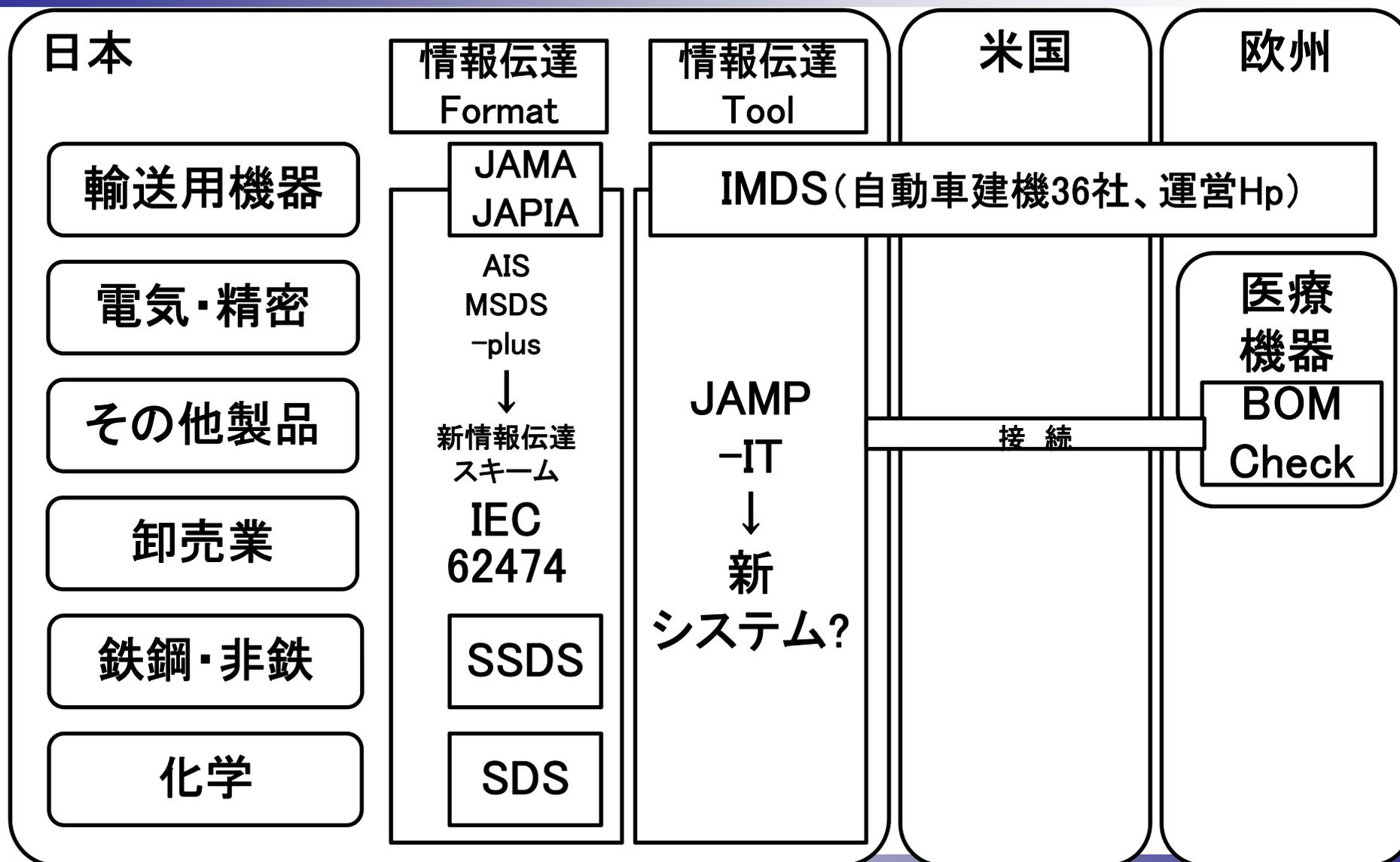
電機・精密が高い普及率

石化協会員企業の利用率が高い

JAMP-ITの利用

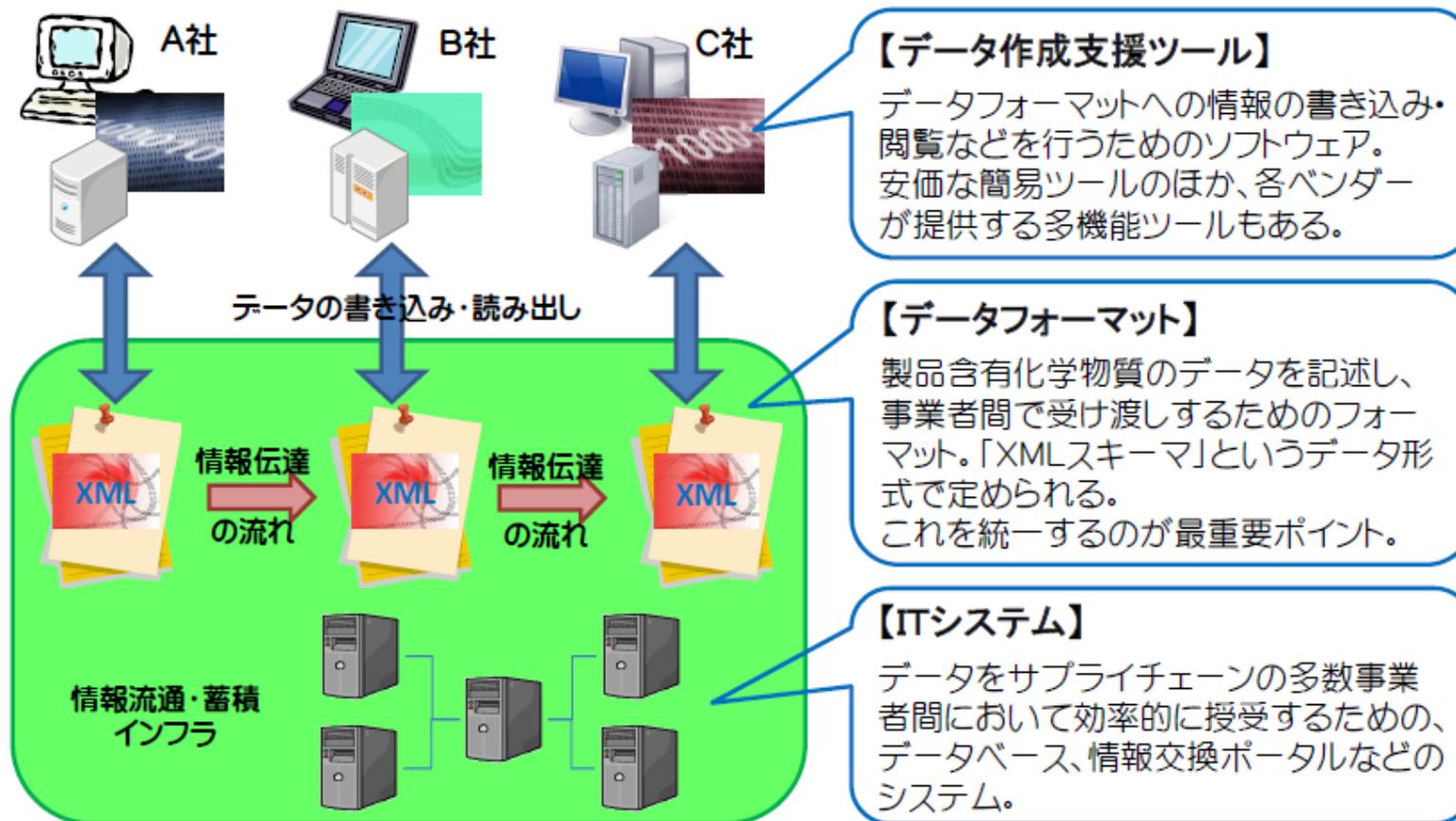


伝達のツールとフォーマットの状況(今後)



「情報伝達スキーム」の構成要素

本研究会で検討する「情報伝達スキーム」とは、以下の3つを主要な要素として構成される仕組みを指す(他に、運用ルール・ガイドライン等の文書、普及・教育活動等も新スキームの重要な要素)。



情報伝達の対象範囲は「物質リスト」として定義される。そのルール化が不可欠。

ツール変更による影響

- ・海外取引先 / 二次取引先への展開
- ・再教育 (JAMPツールと似ているが・・・)
- ・EXCEL → exeファイル (セキュリティーポリシーとの競合)

フォーマット変更による影響

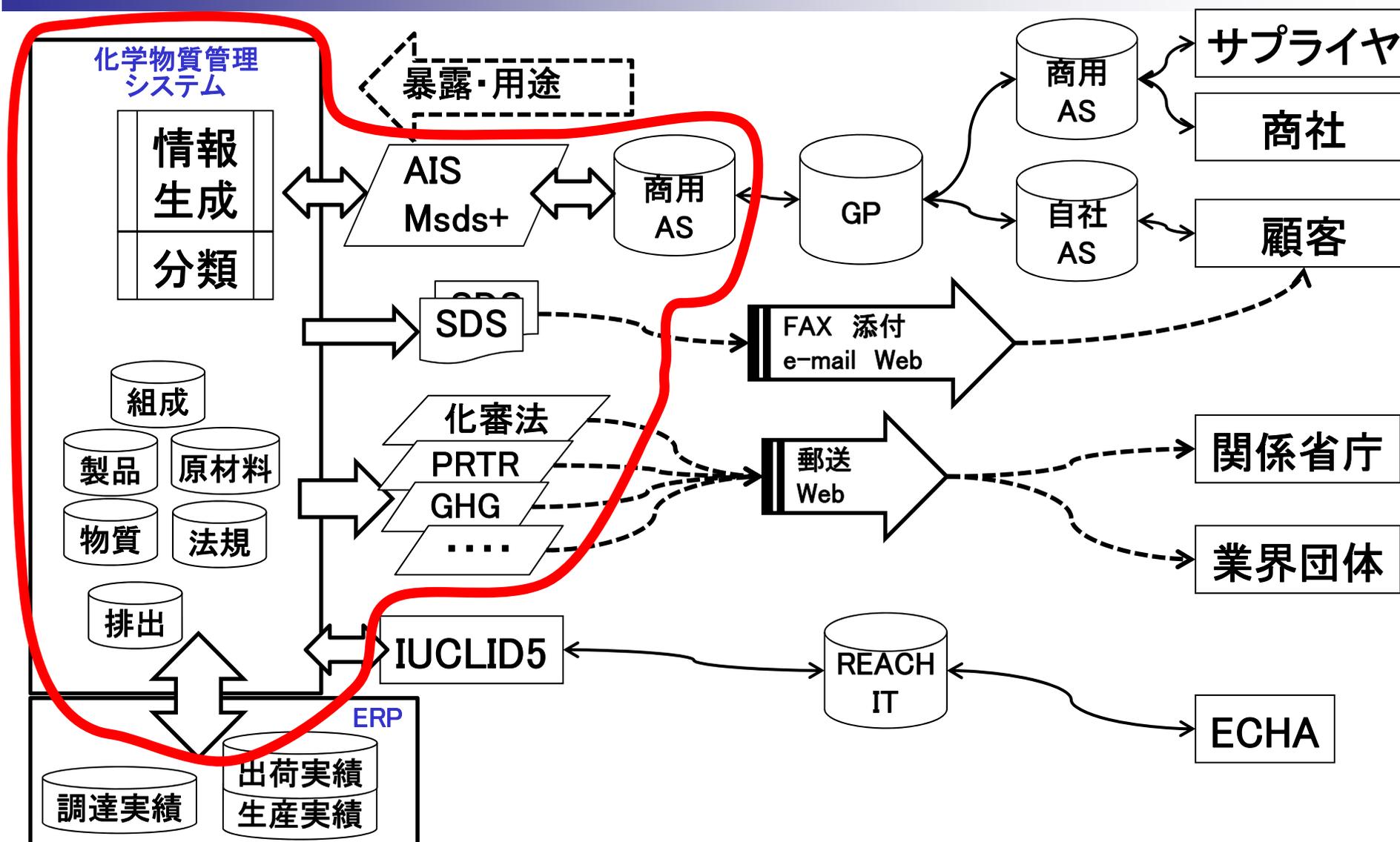
- ・既存フォーマットの読込・変換が可能
複数ファイルの同時変換 <= 大量データの変換
- ・自社システムとの連携 <= 出力・入力 双方向のシステム
改修

ポータル変更による影響

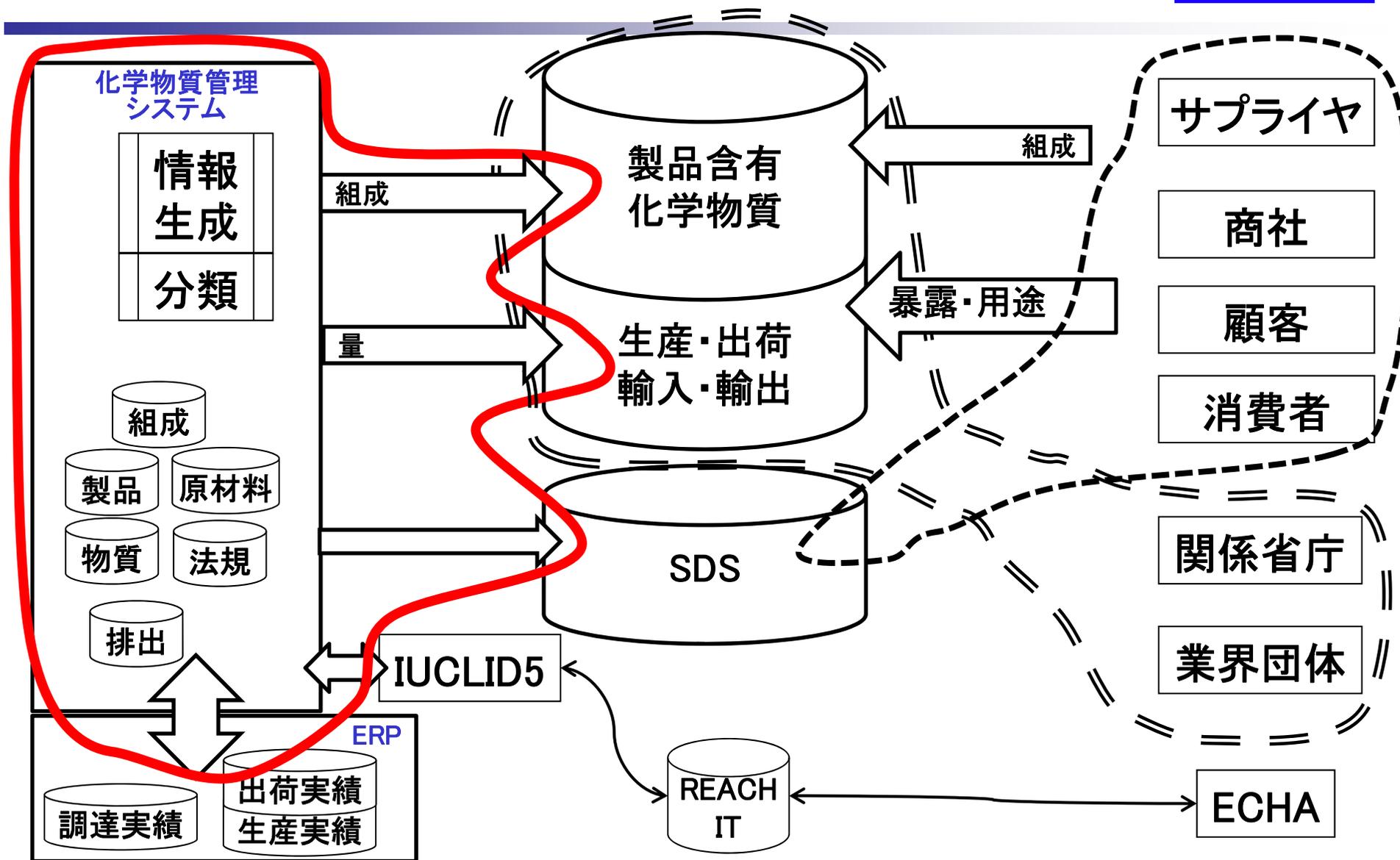
- ・自社システムとの連携 <= インターフェースシステムの改修
- ・再教育
- ・費用

5 今後の化学物質情報伝達の提案

現状の化学物質管理と情報伝達ソリューション



望まれる情報伝達ソリューションのイメージ



6 まとめ

【3年間の活動を通しての現状認識】

- WG発足の初期目的“受発注データ交換と 化学物質情報交換の同期化の実現性検証”は実現困難である事を確認した。
- 化学業界における環境情報に関する業界・業際横断の取り組みは、日化協を主体にJAMP・経済産業省等と連携して推進されている。
(新情報伝達スキームの開発)
http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/other/cip_index.html
- 環境の取り組みは、各社ともレスポンシブルケア部門が主体となっており、IT部門はIT環境の提供などサポート業務が主になっている。
- 化審法・REACHに対して各社、個別に対応をしている。

ご清聴ありがとうございました。

